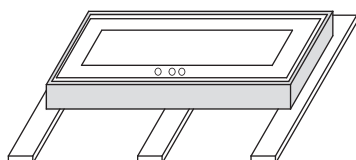


玄関ドアの取付け

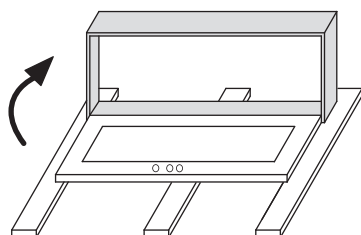
枠（ドア）の取外し

- ① 緩衝材（厚さ5cm以上）の上へ横置きします。
その際に丁番側が下になるように寝かしてください。

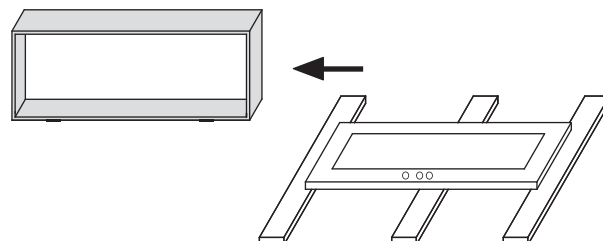


* 丁番に緩衝材が当たらない様にして下さい。

- ② そのままゆっくりと枠を垂直に持ち上げてください。



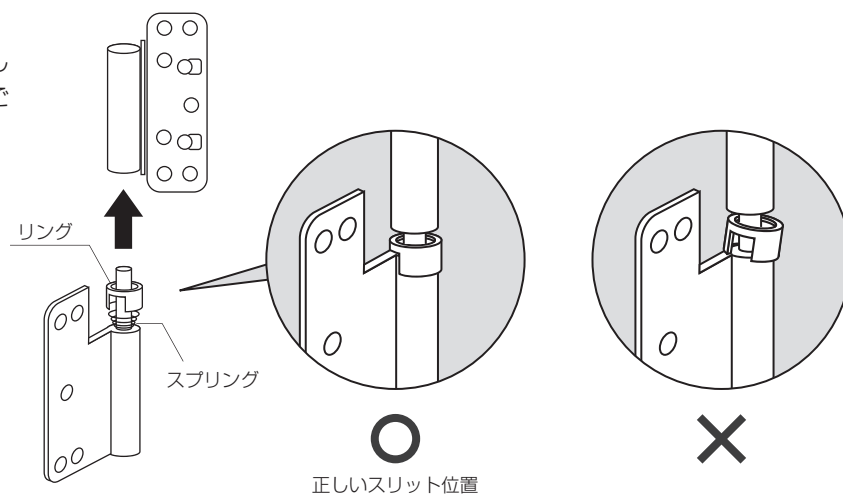
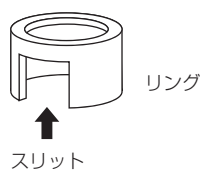
- ③ そのままゆっくりと枠を下枠の方向へずらしします。
取外した枠を最初に躯体に取付けます。



丁番の注意点

- ① 丁番をスライドして外した際、スプリングを押さえるためのスペーサーのリングも外れてしまいます。スプリングとスペーサーの紛失にご注意ください。

- ② 丁番を戻す際、スプリングとリングを忘れないようご注意ください。また、リングのスリット位置に注意しながら差し込み、設置してください。

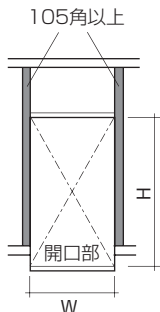


玄関ドアの取付け

枠（ドア）の取付け

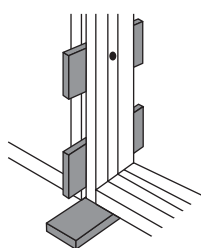
① 開口の準備

ドアは重量がありますので、開口枠の両側には105mm角以上の柱をご使用ください。

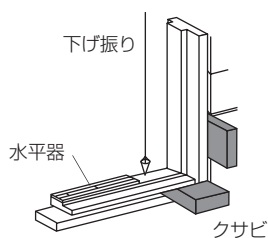


② クサビの固定

枠を取付ける下地が水平であることをご確認ください。枠を躯体に合わせクサビを縦枠の下部及び枠に設けられた取付穴の位置にクサビを配置し、仮固定してください。

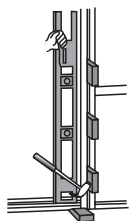


下げ振り及び水平器等を用いて垂直、水平及びタオレの確認を行ってください。

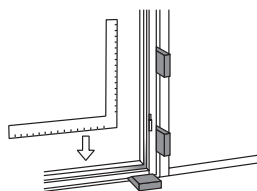


③ 丁番側

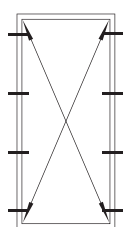
丁番側の縦枠が、垂直でかつ躯体と面が揃うように調整してください。



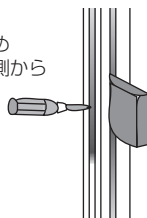
丁番側の縦枠が、下枠及び上枠と直角（90度）であることを確認してください。



取付け穴より専用のビスをクサビを介して丁番側の縦枠をしっかりと固定してください。
取付穴位置は製品図を確認してください。

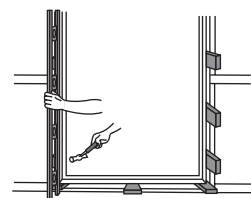


ネジ止め
吊り元側から



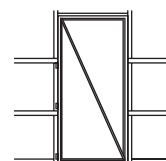
④ ラッチ受け側

ラッチ受け側の縦枠が、垂直かつ躯体と面が揃うように調整してください。また、枠全体のよじれ、ねじれ、タオレがないこと、下枠及び上枠と縦枠が直角であることを確認できたら、取付け穴より専用のビスを用いて仮止めしてください。

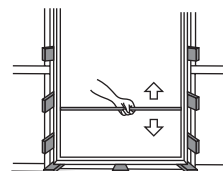


⑤ 最終確認

バカ棒等で枠の対角が均等であることを確認してください。



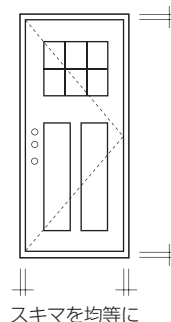
上部より下部まで、開口が均等かどうかを確認してください。



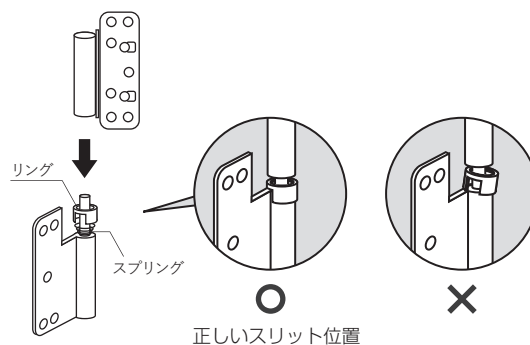
⑥ ドア吊込み

枠正面に対して垂直にドアを持ち上げ、ドア側の丁番を枠側の丁番に落とし込みます。その際、ドアと枠の間に指を挟んだり丁番がうまくかみ合わずドアを足に落したり、ドアが傾き枠を傷つけないよう慎重に行ってください。

ドアを吊り込んだらハンドルを取付け、ドアを閉めた状態で上下左右の隙間、チリが均一かどうかの確認、ドアの開閉がスムーズに行われるか、またドアが下枠に擦ってないか確認ください。



丁番を戻す際、スプリングとリングを忘れないようご注意ください。また、リングのスリット位置に注意しながら差し込み、設置してください。

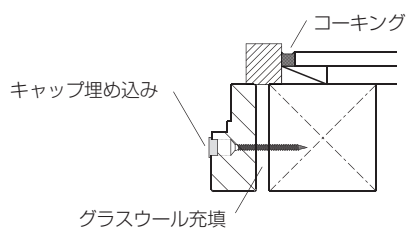


玄関ドアの取付け

枠（ドア）の取付け

⑦ 防水処理

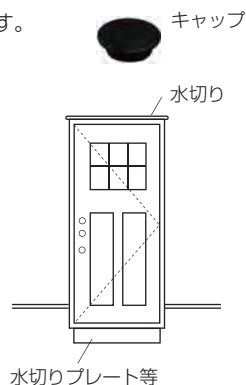
ネジ穴に付属のプラスチック キャップをはめ、枠と躯体の隙間にグラスウール等の断熱材を充填し、コーキング及び防水、気密テープを用いて隙間を完全に塞いでください。



プラスチック キャップは4色あります。枠の塗装に合わせてお選びください。

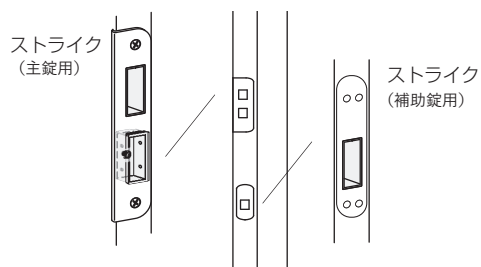
雨風が直接当るような場所への設置は極力避けてください。

やむを得ない場合は、水切りプレート等（外壁専用部材等）の取付けをお奨めします。



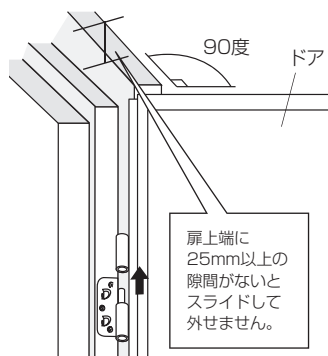
⑧ ストライクの取付け

枠側へストライクを取付けます。



⚠ 注意 工事完了後のドアの吊り替え時の注意

工事完了後にドアを外す場合、ドアを90度開き、枠ヒンジからドアを持ち上げてください。この場合、上部枠の化粧縁から、持ち上げる隙間が25mm以下の場合、ドア側の丁番を外して行ってください。再取付は確実に行ってください。

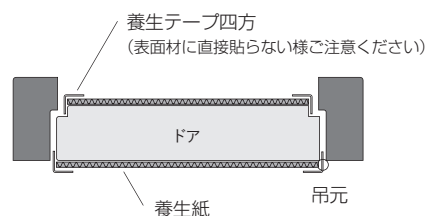


ドアの養生

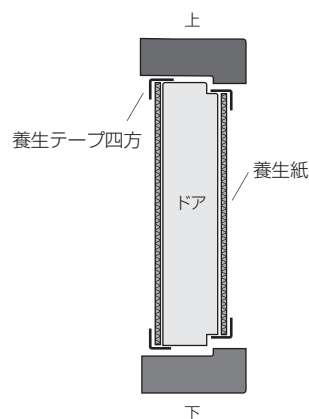
- ① 玄関ドア取付け後、ドア全体を養生してください。
- ② 養生テープは、ドア表面材に貼らずに、四方木口に折り返して貼ってください。

* 養生テープを直にドア表面に貼りますと、はがす時に表面材がはがれる危険または貼着面にノリが残る可能性がありますのでご注意ください。

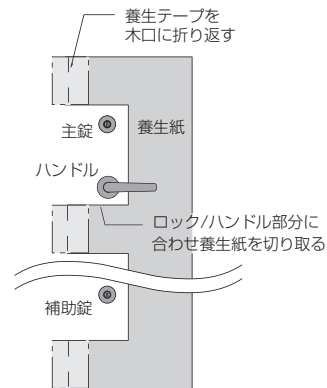
水平断面図



垂直断面図

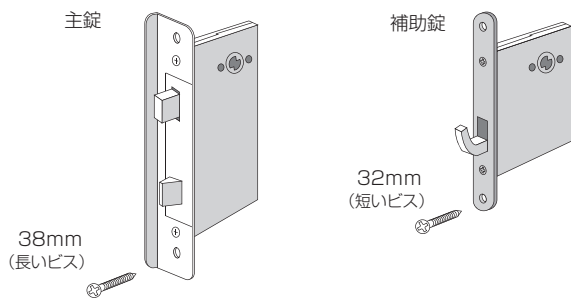


ハンドル部分

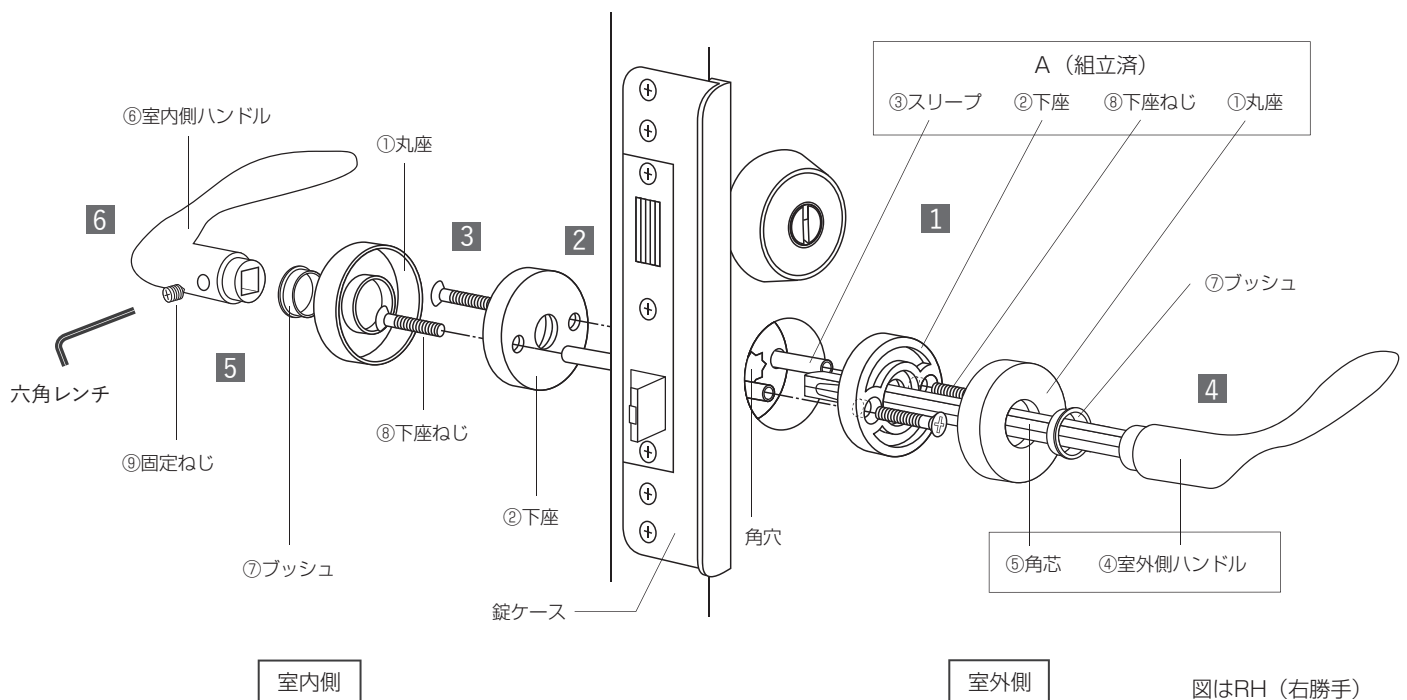


ハンドルの取付け

① ハンドル取付けの前に、錠ケースを取付ます。ビスの長さが2種類ありますので、ご注意ください。



② 下の図に従いハンドルの取付けを行ってください。その際、室内側のビスは確実に締めて取付けてください。



取付手順

- 1 室外側からA[⑦プッシュ+①丸座+②下座+③スリーブ+⑧下座ねじ(組立済)]を錠に差し込んでください。
- 2 Aと室内側の②下座を⑧下座用ねじで取付けてください。
- 3 室内側の①丸座を②下座に圧入してください。
- 4 ④室外側ハンドル(+⑤角芯)を錠に差し込んでください。(⑦プッシュを必ず入れてください)
- 5 ⑥室内側ハンドルを錠に差し込み⑨固定ねじを締め付けてください。(⑦プッシュを必ず入れてください)
- 6 ハンドルの動きを確認してください。

【クリーニング方法】

- ・汚れは柔らかい布などで、から拭き程度にしてください。
- ・強い汚れは中性洗剤を使い、水拭きをした後、必ずから拭きをしてください。
- ・変色、腐食の恐れがあるため、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や、酸、アルカリ、塩素などの化学薬品は使用しないでください。

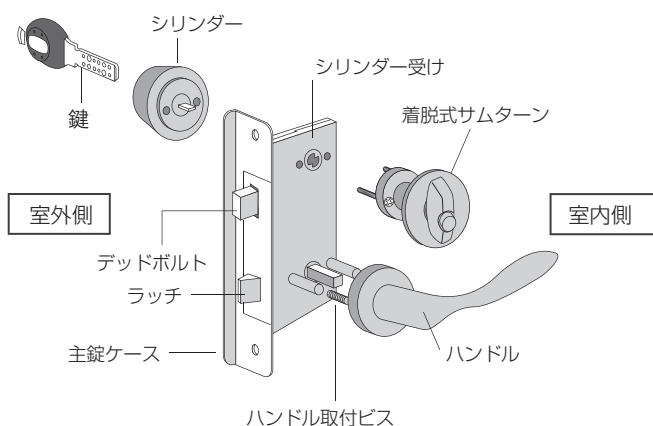


注意

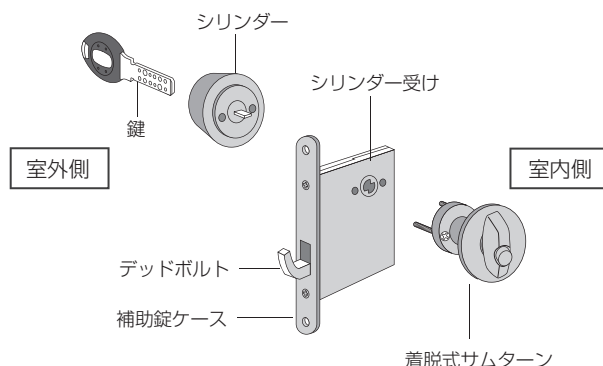
- ・ハンドル取付後、扉開閉時に袖壁などに当たらないか十分で確認下さい。当たる場合は取付をしないでください。
- ・必ず、扉吊り込み後にハンドルを取付けてください。

シリンダーの取付け

主錠



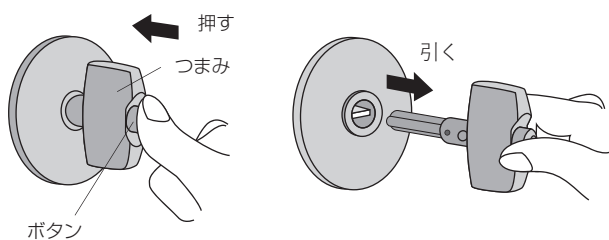
補助錠



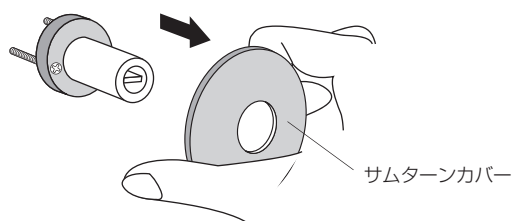
取付手順

- ① 脱着式サムターンのつまみ、サムターンカバーを取外します。

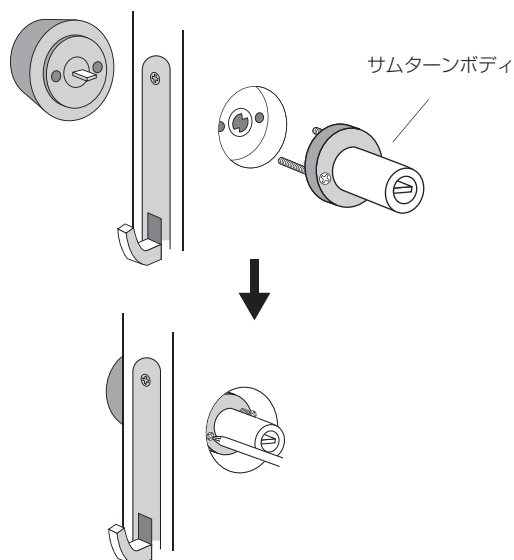
・ ボタンを押し込み、つまみと一緒に引き出します。



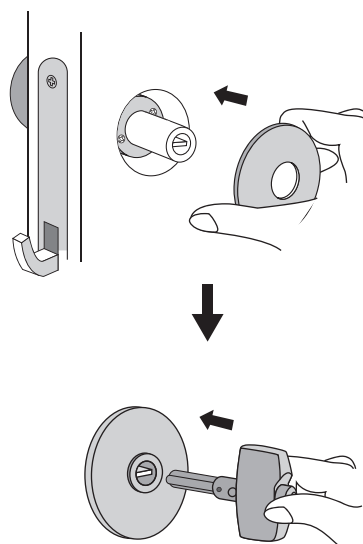
・ サムターンカバーを取り外します。



- ② 錠ケースのシリンダー受けにシリンダーとサムターンボディを合せ、ビスで取付ます



- ③ サムターンカバー、つまみを取付けます。



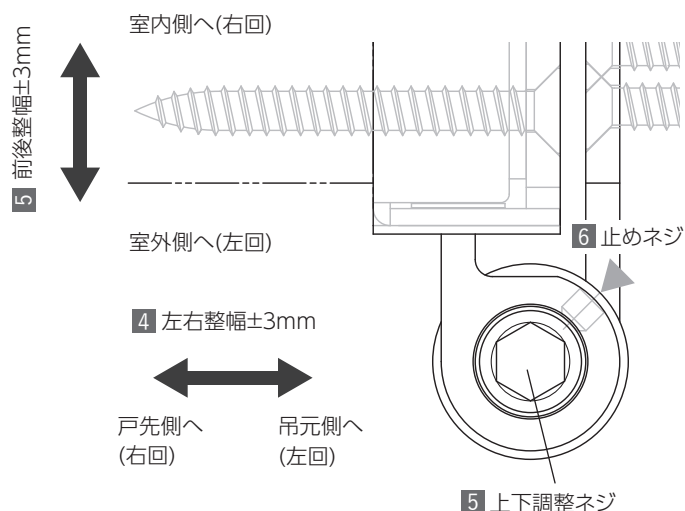
⚠ 注意

取付け時、シリンダー及びサムターンのマウントが錠ケースの所定の位置に取り付けられていることを確認してからシリンダービスを締めてください。

所定の位置からずれていると故障や施解錠不調の原因となります。

ドアの建付けの調整

扉の吊り込み後やメンテナンス時、建て付け調整が必要な場合は、以下の手順に従って調整丁番の設定を行ってください。



＜ 前後調整方法 ＞

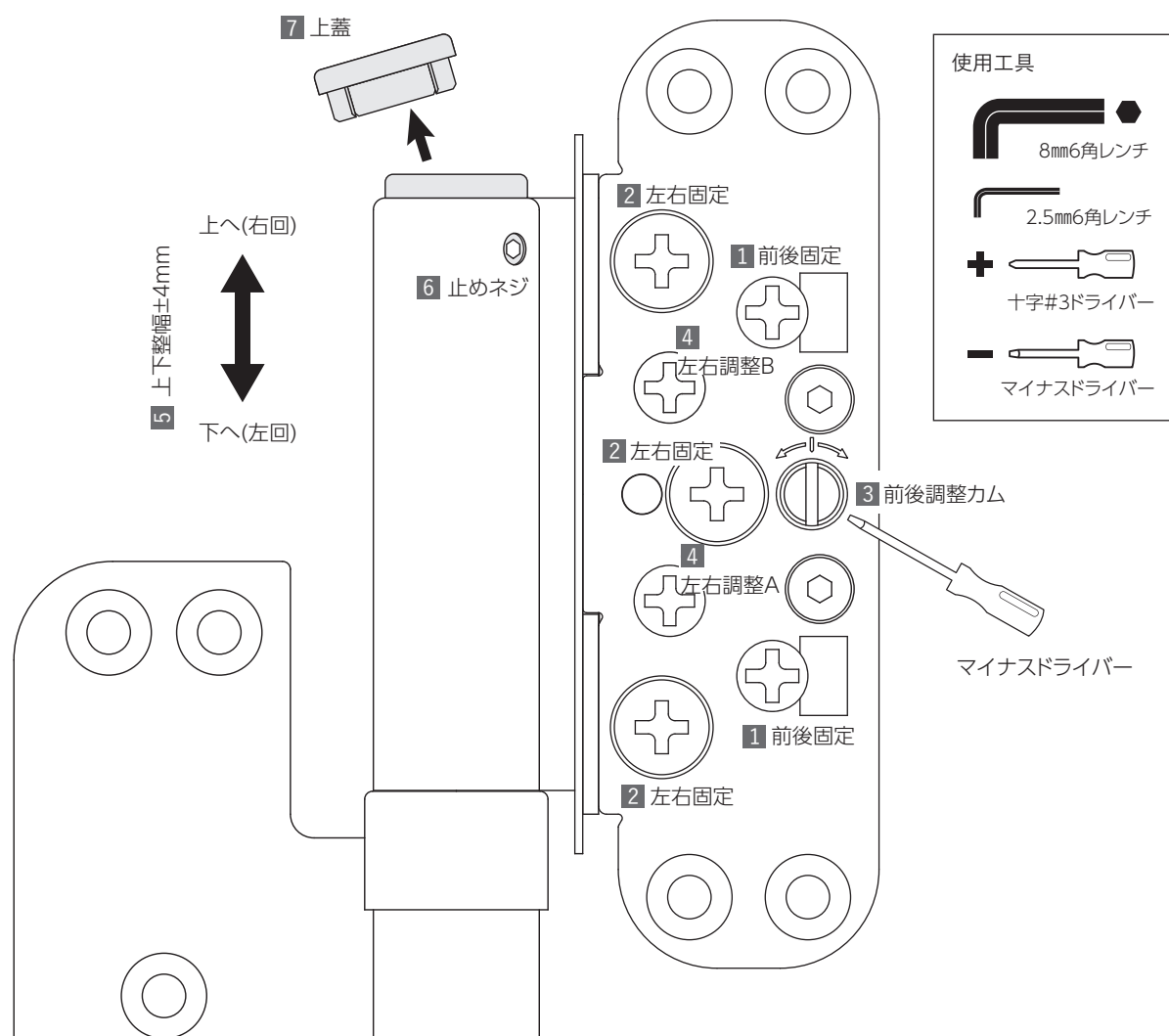
- ① **1** 前後・**2** 左右固定ネジ(5本)を全て緩める。
- ② **3** 前後調整カムをマイナスドライバーで回して位置を決める。
- ③ **1** 前後固定ネジ(2本)を締め付ける。
- ④ 左右調整が不要な場合は、**2** 左右固定ネジを締めつける。

＜ 左右調整方法 ＞

- ① **4** 左右調整ネジAを右回しでねじ込む。
- ② **2** 左右固定ネジ(3本)を全て緩める。
- ③ **4** 左右調整ネジBを左右に回しておおよその位置を決める。
- ④ **4** 左右調整ネジAを左に止まるまで回す。
- ⑤ **2** 左右固定ネジ(3本)を締め付ける。
- ⑥ 微調整は、固定ネジと調整ネジを少しずつ回して行う。

＜ 上下調整方法 ＞

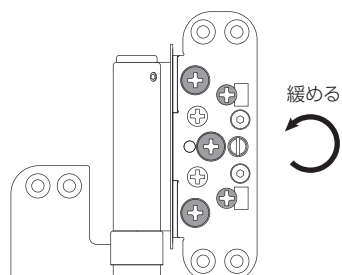
- ① **7** 上蓋を外す。
- ② **6** 止めネジを少しだけ緩める。
- ③ **5** 上下調整ネジを左右に回して上下の位置を決める。
- ④ **6** 止めネジを締めつける。
- ⑤ **7** 上蓋を戻す。



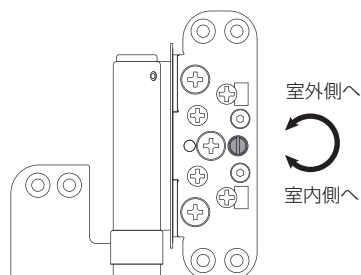
※左右勝手あり。本図は右勝手(RH)を示します。

ドアの建付けの調整

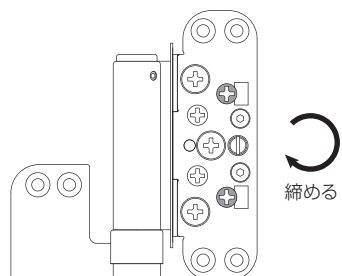
《前後調整方法》



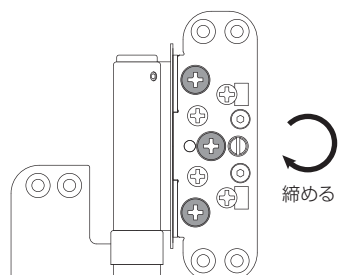
- ① **1** 前後・**2** 左右固定ネジ(5本)を全て緩める。



- ② **3** 前後調整カムをマイナスドライバーで回して位置を決める。

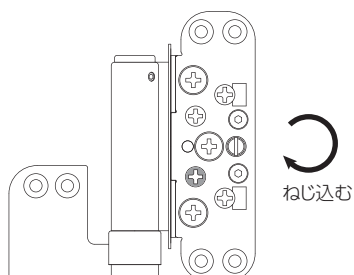


- ③ **1** 前後固定ネジ(2本)を締め付ける。

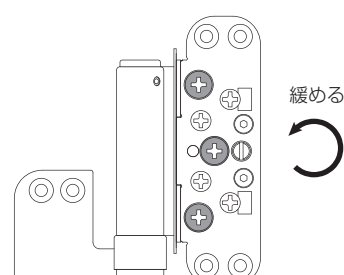


- ④ 左右調整が不要な場合は、
2 左右固定ネジを締めつける。

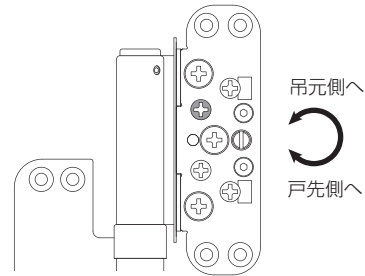
《左右調整方法》



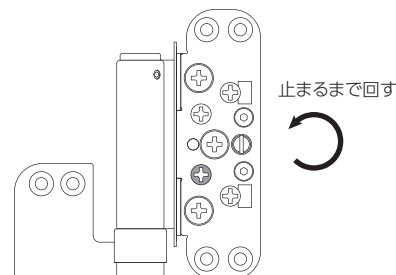
- ① **4** 左右調整ネジAを右回しでねじ込む。



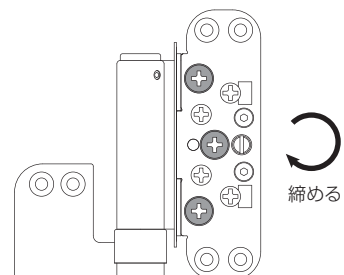
- ② **2** 左右固定ネジ(3本)を全て緩める。



- ③ **4** 左右調整ネジBを左右に回しておおよその位置を決める。

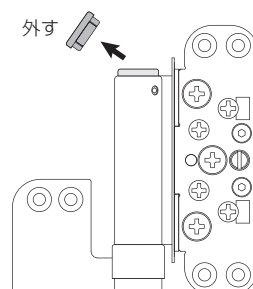


- ④ **4** 左右調整ネジAを左に止まるまで回す。

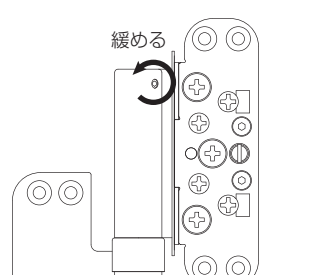


- ⑤ **2** 左右固定ネジ(3本)を締め付ける。
⑥ 微調整は、固定ネジと調整ネジを少しずつ回して行う。

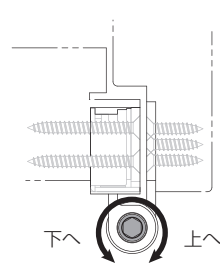
《上下調整方法》



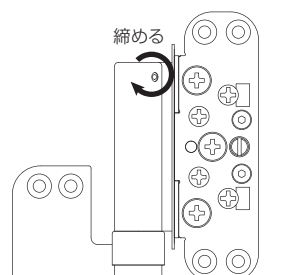
- ① **7** 上蓋を外す。



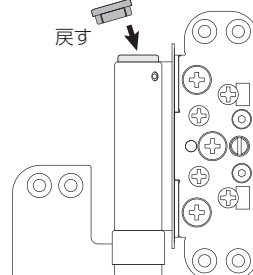
- ② **6** 止めネジを少しだけ緩める。



- ③ **5** 上下調整ネジを左右に回して上下の位置を決める。



- ④ **6** 止めネジを締めつける。



- ⑤ **7** 上蓋を戻す。

※左右勝手あり。
本図は右勝手(RH)を示します。

ラッチ受けの調整

ラッチ受け箱を反転または交換をすることで、ラッチの入りをスムーズにする調整が可能です。

① ラッチ受け箱は②ビスで固定されており着脱が可能です。

② 固定ビスを外し③ラッチ受けから取出し調整を行います。

*⑤ストライクを取り外す必要はありません。

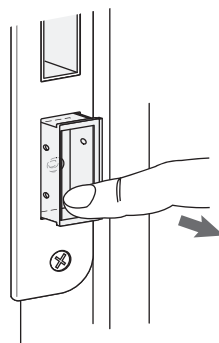
① プラスドライバーで ② 固定ネジを取外します。

取外したネジはなくさないようにしてください。



② ①ラッチ受け箱を抜き取ります。

指をラッチ受け箱内に入れ軽く押さえるようにして引き抜くとスムーズに取り出せます。



③ 図1を参考に、ラッチ受け箱(4/2.5mm)または付属品の調整ラッチ受け箱(1.5/5mm)を使用し、取り外した逆の手順で元に戻してください。

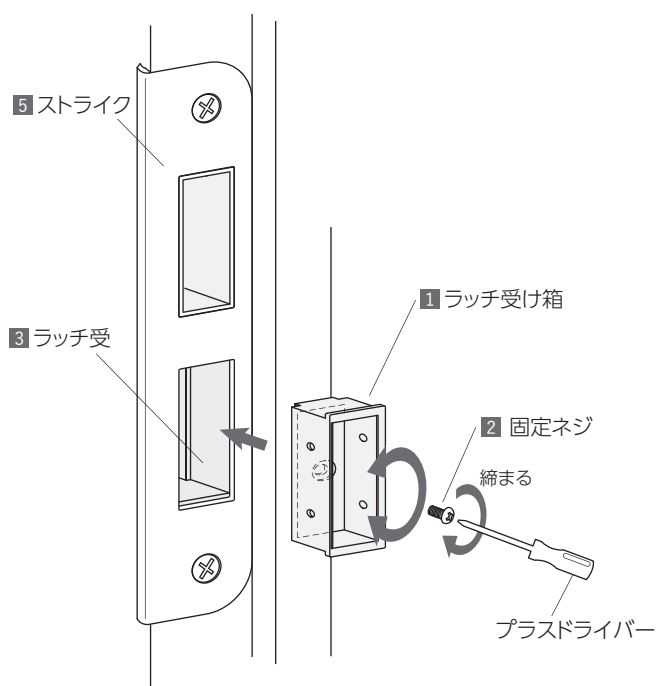
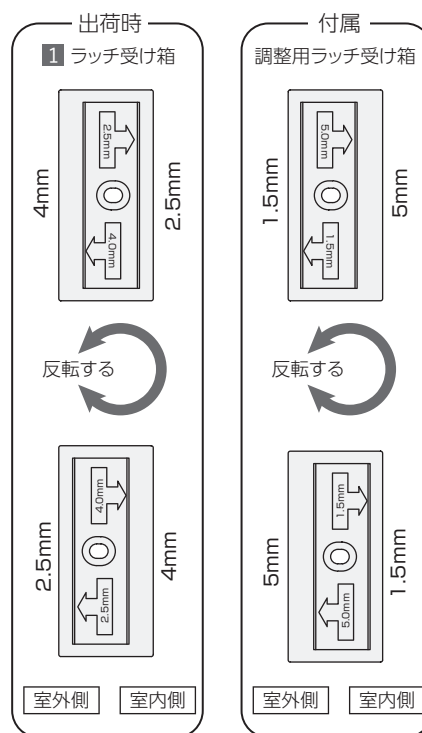
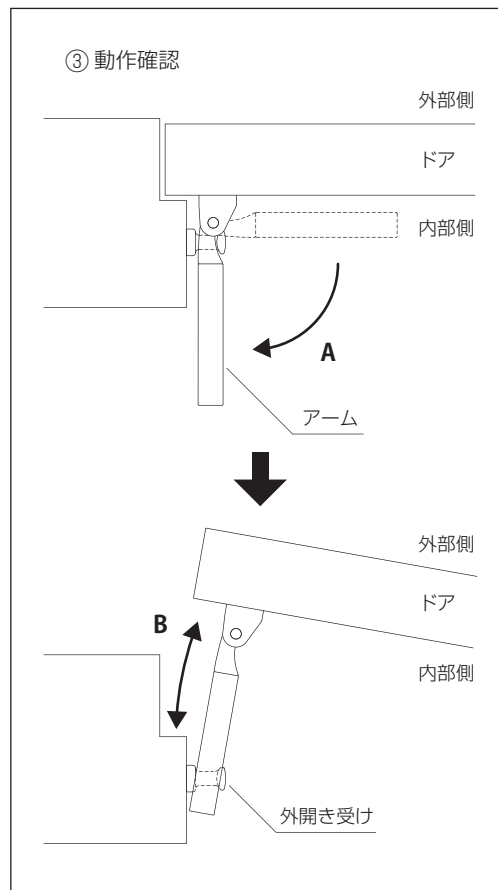
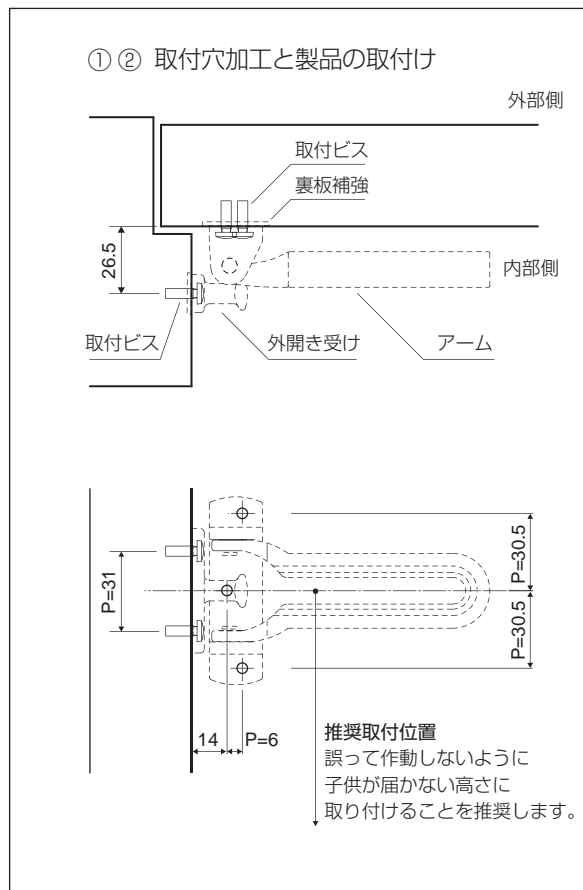


図1



ドアガードの取付（オプション部材） HU-126-3-1

取付ビスが縦框に効くようドアガード台座の端が、枠面より戸隙を含め3mmの位置になるよう取付けます。
（下穴は2mm程度のドリルで開けてください）



① 木製ドアや木製枠の場合は、下穴を空けてから取付することを推奨します。

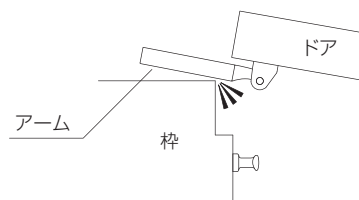
② 製品を取付ビスで取付けてください。（仮付け）

③ ドアを閉めた状態でアームをAの様に動かした後、Bの様にドアを軽く開け閉めし動作に問題がないか確認した後、本体と受けを本締めしてください。

※付属取付ビス M4×12 6本(1本は予備)
タッピングビス6本4×30 (1本は予備)

注意！

アームをドアに当ててドアストッパーのように挟んで使用すると本品の破損や枠を傷つける可能性があります。
絶対にしないでください。

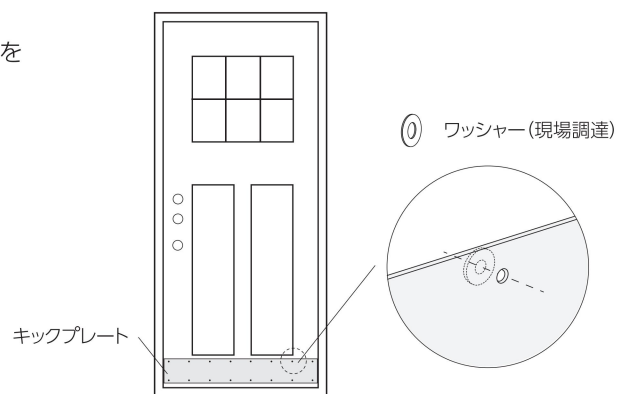


キックプレートの取付（オプション部材）

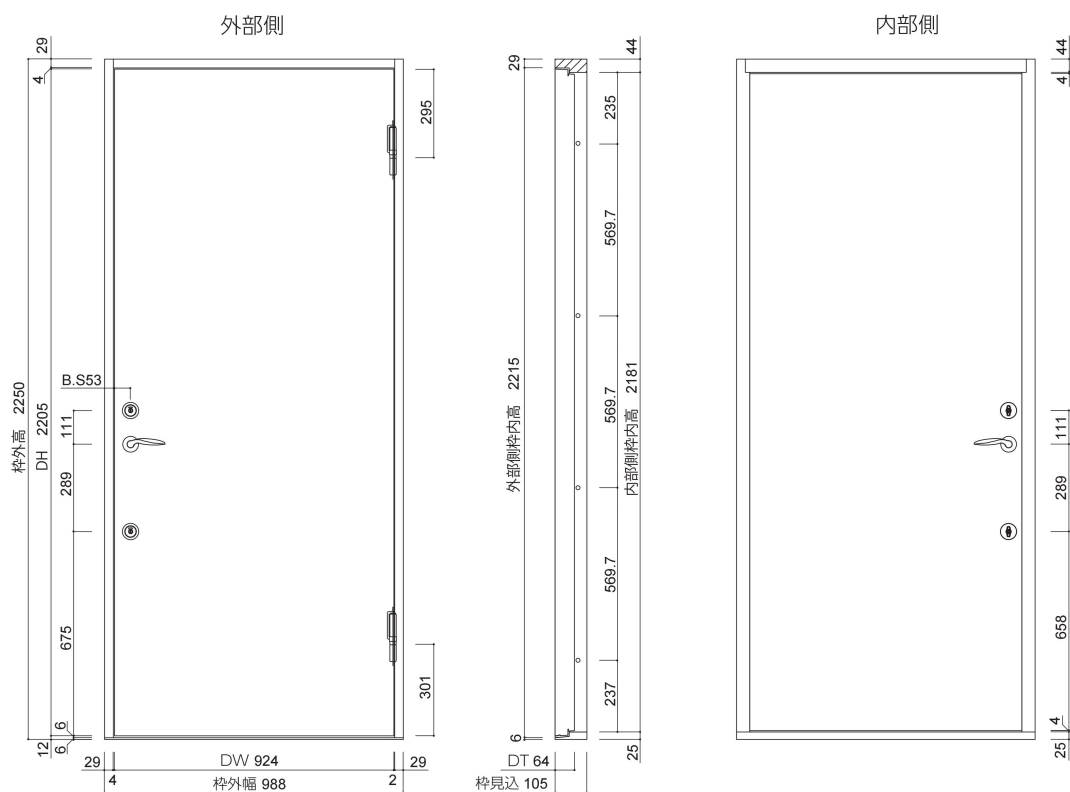
GKP-1492C / GKP-1492S

キックプレートは現場取付になります。
その場合、ドアとキックプレートの間にワッシャーを
かまして取付をおすすめします。
ドアの腐食を防ぎます。

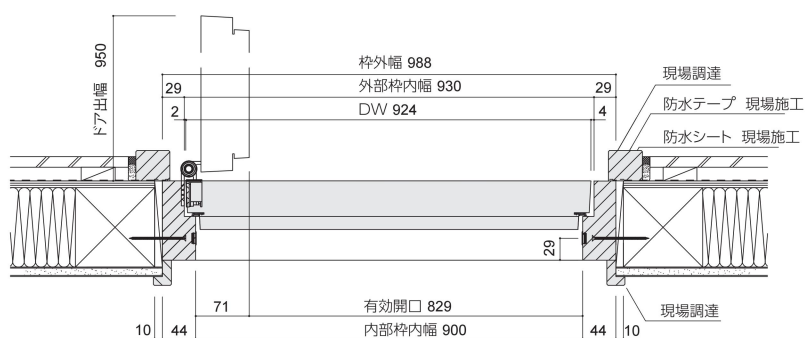
キックプレート



参考納まり図 - Calm(カーム) -



横断面図



縦断面図

